

感謝の気持ちをお忘れず、 大川のために全力で！

みやざき鍼灸整骨院

院長 宮崎 泰暢 さん

ひろのぶ

住所：大川市大字大橋8

TEL：0944-8618030

HP：https://www.miyazakiseikotsuin.net/

みやざき鍼灸整骨院 八戸

住所：佐賀県佐賀市鍋島町八戸1-14-5-1

TEL：0952-19717836

今月の夢追い人は、みやざき鍼灸整骨院の宮崎泰暢さんにお話を伺いました。

「平成22年に創業をし、14年目になりました。現在はアルバイトも含めると9名で整骨院としての業務に励んでいます。施術内容を具体的に言うと、鍼灸治療、スポーツ外傷、腰部痛治療などです。鍼灸は、症状に応じたツボに鍼（はり）や灸（きゅう）を施し、自律神経系に作用して血行促進を促したり、ホルモン分泌を正常にし自然治癒力を引き出します。スポーツ外傷は筋肉が硬い状態だとケガをしやすかったり、練習や試合中のケガで本来の力が出にくい状態が続いてしまいますので原因

を追究し、改善していきます。腰部痛治療は、長時間の中腰や猫背などの姿勢を続け、腰や背中中の筋肉が緊張し続けたときや、運動不足で腰を支える筋力が弱っているときなどに起こります。ギックリ腰や坐骨神経痛など様々な原因から起こりますのでお身体に関するお悩みはお気軽に相談いただければ嬉しいです」

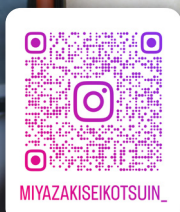
まず、施術を行うために必要な資格についてお伺いしました。

「柔道整復師は骨や関節、筋や腱や靭帯などに加わる外傷性が明らかな原因によって発生する骨折、脱臼、打撲、捻挫、挫傷などの損傷に対して、手術をしない方法で整復、固定

などを行い、人間の持つ治療能力を最大限に発揮させる施術を行う国家資格です。他にも鍼灸師とは鍼と灸を使い全身にあるツボや皮膚・筋肉に刺激を与え、自然治癒力を高めたり、病気の改善や予防、健康回復を目的として治療を行う「はり師」と「きゅう師」の国家資格を両方持つ東洋医学の専門家です。はり師ときゅう師は別々の国家資格ですが、両方の資格を持つ方が多いため鍼灸師と呼ばれています」

では、宮崎さんがこの業界に入るきっかけは何だったのでしょうか。

「私の実家は家具製造を営んでいた家系でしたが、継ぐこ





外観

となどは考えずに自分のやりたいことをやりなさいと言われて育ちました。高校も工業系の高校に通っていました。私たちの世代は就職氷河期世代で、先輩方が就職に苦労されているのを目の当たりにして、何か資格取得するなど、手に職をつけなさいといけないという思いと両親の薦めもあって、柔道整復師の資格を取るための専門学校を受験することにしましたね。しかし、当時はその専門学校に入るための予備校があるほど倍率が高く、高校卒業と同時に進

学することが出来ませんでした。1年浪人をする形になってしまったので、両親には心配を掛けましたし、それが私に火をつけましたね。それから整骨院に住み込みでアルバイトをしながら、専門学校の受験勉強や技術の習得に努めました。昼は整骨院で働きながら、夜は柔道整復師の資格取得のため専門学校に3年間通いました。柔道整復師の資格取得後は、働きながらはり師、きゅう師の資格を取得するために別の学校に通いましたね。その後は色んな経験をしました。その後は色んな経験をしました。その後は色んな経験をしました。その後は色んな経験をしました。

また、宮崎さんが施術時に気をつけていることは何でしょうか。

「一番は人への伝え方に気を付けています。患者様だけでなく従業員に向けてもですね。話し方だったり、聞くことも含めてそう思いますよね。伝えたいことがあっても、上から私の要求ばかり話しても、聞いてはもらえません。相手の立場や相手の気持ちを尊重することも大事です。患者様が入って来られたら施術中で

も挨拶することは基本だと思いますし、そういう活気ある、気軽に話してもらえそうな職場づくりが私の役割だと考えています。柔道整復師やはり師・きゅう師は、患者さんの症状に合わせて施術を行いますし、患者さんの治療箇所に触れる機会が多くある職業です。技術があってもコミュニケーション能力が問われる職業だとも感じています。従業員にもそういう部分はしっかり意識していこうといつも話していますね」

みやざき鍼灸整骨院だからこそできることなどもお話いただけますか。

「うちでは私の他にも柔道整復師の資格を持った従業員が多数働いてくれています。どの業界でも人材不足が叫ばれています。うちでは柔道整復師や、はり師、きゅう師の資格取得のために学校に通われている学生をアルバイトとして学生時代から業務に携わってもらっていますね。研修やインターシッピングのように、学校で実技の勉強ももちろん学ぶのですが、実際に見て、聞いて、触れる経験は出来ませんし、実際の患者様と向き合えるというのは有意義なものだと考えています。」

また、従業員にも色々な経験をさせてあげたい思いが強いです。学生時代スポーツをしてきた先生もいます。院内の施術とは別に、スポーツ現場では試合や練習中のケガや障害にいち早く対処し回復を促進する役割を担っています。現在は、小学生のバレーボールや中学生の野球やバレーボール、高校生や県外の大学生、社会人のスポーツチームを私をはじめ、資格を持った従業員でそれぞれ分担し、毎週トレーニング指導を行っています。トレーナーとして試合に帯同することもありません。ただ付いていくだけではなく、スポーツを頑張る若い人たちが近くで応援しながら、痛みなどの体の不安を少しでも解消してあげたいですね。彼らの活躍がひいては地域貢献へも繋がってきます。昨年の4月には佐賀にも新しい整骨院を開院しましたし、いろんな地域に向けた貢献も続けていきたいですね」

では宮崎さんの夢についても伺いました。「常に感謝の気持ちを持っていたいですね。何事にも長年この大川で整骨院としてやってこれたのも皆さんのおかげ

というのは忘れてはいけません。私には、大川商工会議所青年部に所属しています。感謝の気持ちを忘れず、青年部活動を通して少しでも地元大川のために、日々全力で貢献できるように心がけていきます。また、柔道整復師、はり師、きゅう師としての施術は毎回の手当てが基本ですが、技術の向上はもちろんですが、人と人との繋がりはとても大切で、患者様の訴えに耳を傾け、痛みが分かる目を持って、手をさしのべる医療です。患者様や地域の方々により良い医療を全力で提供していきたいですね」



本木南交差点に設置された看板